

公益社団法人徳島県看護協会

TOKUSHIMA
NURSING
ASSOCIATION

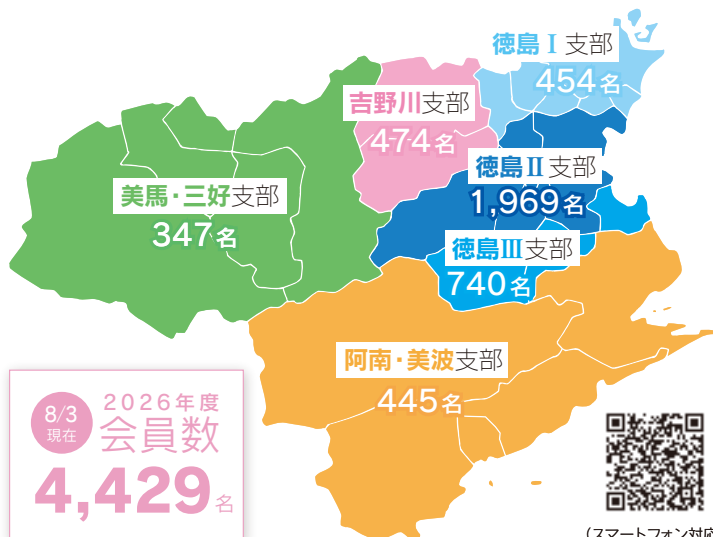
2026.8.31

協会ニュース

No.
115



表紙 写真提供 森山節子 様



(スマートフォン対応)

CONTENTS

会長挨拶	2
春の叙勲および表彰	2
令和8年度 徳島県看護協会通常総会	3
2026(令和8)年度 役員・委員名簿	3
令和8年度 日本看護協会通常総会	5
令和8年度 全国職能別交流集会	5
私たち生涯現役です	6
「3大疾病保障制度」のご案内	8
看護会館使用料 改定	8
第42回 徳島県看護学会	8
認定看護管理者教育課程の新制度に伴う 徳島県看護協会の現行教育課程修了のお知らせ	8
ご意見箱の設置について	8
ナースセンターだより	8
ワンポイントアドバイス No.57	8
編集後記	8

会長挨拶



会長 庄野 泰乃

皆様、こんにちは。日頃は公益社団法人徳島県看護協会の事業及び活動にご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

今年6月の通常総会において表明しましたとおり、徳島県看護協会は基本理念に基づき、「開かれた看護協会」の実現を目指してまいります。会員の方々をはじめとした看護職や看護学生、一般の方々等が、“来館しやすい、聞きやすい、相談しやすい”、親しまれる看護協会を目指して参ります。そのためには、皆様の貴重なご意見を幅広く収集し、改善に努めることが不可欠です。現在、研修会後のアンケート、メール、電話等による方法でご意見をお伺いしておりますが、令和8年7月1日より看護会館玄関ロビーに「意見箱」も設置いたしました。ぜひ、率直なご意見をいただけるとありがたいと思います。なお、お礼等のメッセージも頂戴できると職員の励みになりますので、併せてご厚意いただけますようお願いいたします。

さて、看護協会の構成は会員で成り立っており、会員の力が看護協会の力となります。しかしながら、徳島県では令和3年度の4,857名をピークに減少傾向に転じ、現在（2026年6月26日）の会員数は4,307名です。5年間で約550名（11%）減少しました。看護協会の役割は、処遇改善や夜勤交代制勤務の課題等、一つの施設や個人の力だけでは解決できない看護を取り巻く課題を組織の力で解決し、看護を発展させ、社会に貢献することです。しかし、このまま会員数の減少が続けば、現状の事業存続が厳しくなることが懸念されます。

そこで、減少に歯止めをかけ会員確保を目標に、令和7年12月より会長直轄の組織強化プロジェクト委員会を発足しました。令和8年度は、①各施設の看護管理者の参考となる「入会案内標準スケジュール表（仮）」の策定と試行、②会員継続を目的としたイベントを企画中です。①のスケジュール表は、支部長会を中心に県内に周知し、令和9年度から各施設でアレンジしてご活用いただけるよう、準備を進めております。

また、訪問看護ステーションに勤務している看護職の皆様（県内約600名）にも入会を勧め、在宅・訪問看護領域の看護活動を活性化してまいりたいと考えておりますので、ご理解ご支援をよろしくお願いいたします。

看護の発展に力を尽くし看護の価値を高めるとともに、看護職から信頼され、誇りに思ってもらえるような看護協会にしていきたいと思っていますので、今後ともご支援ご協力をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

春の叙勲 および 表彰



瑞宝単光章

喜来 浩美 様



徳島県表彰

中井 幾美 様



日本看護協会会長表彰

岩佐 幸恵 様



医療功労賞

黒坂 恵子 様

令和8年度

公益社団法人 徳島県看護協会

通常総会開催

令和8年

日時 6月6日(土) 9:30~12:30

公益社団法人徳島県看護協会通常総会を令和8年6月6日(土)、徳島看護会館で開催しました。

令和元年度から昨年度までは、徳島大学大塚講堂で開催しておりましたが、今年度は、会員の皆様に徳島県看護会館に参集いただき総会を開催することができました。8名の来賓の方々をお招きし、参加者は一般参加者を含めた214名、委任状3,239名、計3,453名となりました。議決事項の第一号議案、令和7年度決算報告(案)及び監査報告、第二号議案、令和8年度役員及び推薦委員の改選並びに令和9年度日本看護協会代議員・予備代議員の選出について説明があり、承認を得ました。報告事項の理事会報告、令和7年度事業報告、令和8年度重点事業並びに事業計画、令和8年度資金収支予算及び収支予算について報告、協議され、議決事項はすべて承認されました。

令和8年度

重点目標

- 1 看護職確保及び働き続けられる勤務環境の改善
- 2 専門職としてのキャリア継続のための生涯学習支援
- 3 職能団体としての組織力の強化
- 4 全世代型包括ケアシステムにおける看護機能の強化
- 5 災害や感染症などの健康危機管理体制の強化

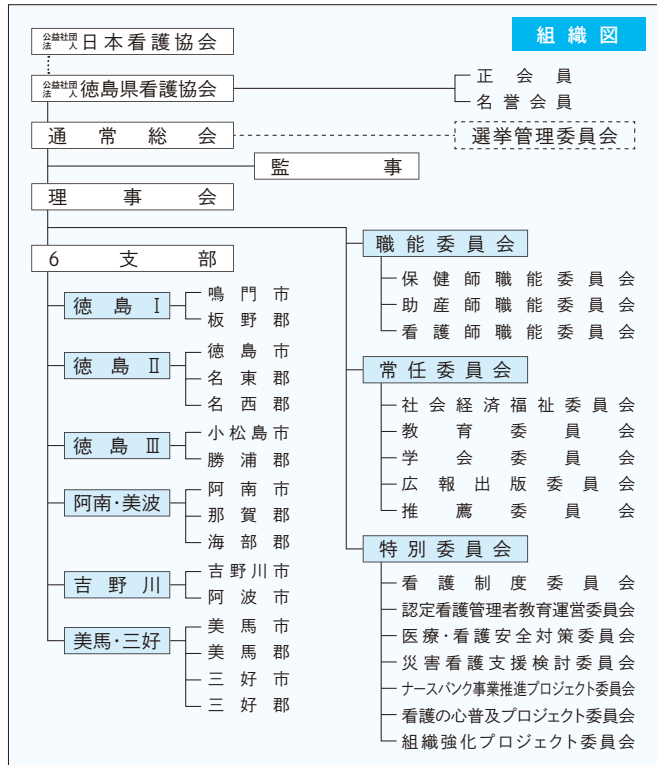
議案

- 第一号議案 令和7年度決算報告(案)及び監査報告
第二号議案 令和8年度役員及び推薦委員の改選並びに令和9年度日本看護協会代議員・予備代議員の選出について(案)

令和9年度

日本看護協会通常総会代議員・予備代議員候補者

職種	代議員	予備代議員1	予備代議員2
保健師	浦西 由美	岡久 玲子	加治 明子
助産師	森内 洋美	木田久美子	元木沙耶香
看護師Ⅰ	谷崎 宏美	和田 光代	切佐古幸代
看護師Ⅱ	藤原都志子	横関恵美子	辻 敬子
准看護師	日岡 真代	中村 友美	



2026(令和8)年度

役員

役職・職能	氏名	担当委員会名	勤務先
会長	庄野 泰乃		公益社団法人徳島県看護協会
第一副会長	鈴記 洋子	職能活動総括・学会担当	公益社団法人徳島県看護協会
第二副会長	三木 真澄	支部活動総括・認定看護管理者教育運営委員会・看護制度委員会	徳島県厚生農業協同組合連合会
専務理事	横山 敦子	災害看護支援検討委員会・ナースバンク事業推進プロジェクトチーム委員会・看護の心普及プロジェクトチーム委員会	公益社団法人徳島県看護協会
常任理事	鈴木 察子	医療・看護安全対策委員会	公益社団法人徳島県看護協会
理事	浦西 由美	保健師職能委員長	徳島県美波保健所
〃	森内 洋美	助産師職能委員長	徳島大学大学院医歯薬学研究部
〃	谷崎 宏美	看護師職能委員長	徳島市民病院
〃	小坂 肇代	徳島Ⅰ支部長	徳島県鳴門病院
〃	岩本 尚美	徳島Ⅱ支部長	徳島県立中央病院
〃	福田 ひろみ	徳島Ⅲ支部長	徳島赤十字病院
〃	舘 美加	阿南・美波支部長	JA徳島厚生連阿南医療センター
〃	尾田 由香	吉野川支部長	JA徳島厚生連吉野川医療センター
〃	岸本 小百合	美馬・三好支部長	徳島県立三好病院
〃	郡 利江	広報出版委員会	むつみホスピタル
〃	山下 留理子	教育委員会	徳島大学大学院医歯薬学研究部
〃	隅田 優子	社会経済福祉委員会	徳島赤十字ひのみね医療教育センター
〃	日岡 真代	看護制度委員会	鴨島病院
〃	土橋 秀美		つちはし社会保険労務士事務所
監事	孝志 洋平		さくら税理士法人
	美馬 敦美		徳島県鳴門病院

職能委員

氏名	勤務先
浦西 由美	徳島県美波保健所
・岡久 玲子	徳島歯科大学大学院部
・高瀬 彩水	徳島県徳島保健所
稲井 敏子	北島町地域包括支援センター
黒川 久美*	徳島県三好保健所
加治 明子	徳島県阿南保健所
・森内 洋美	徳島歯科大学大学院部
伊丹 恵美	JA徳島厚生連阿南医療センター
・山田 良恵	つるぎ町立半田病院
住谷 志恵*	徳島県立中央病院
木田 久美子*	JA徳島厚生連吉野川医療センター
・榎原 嘉那	徳島赤十字病院
・村井 芳江	徳島市民病院
元木 沙耶花	徳島県鳴門病院
谷崎 宏美*	徳島市民病院
大川 由紀	徳島市医師会訪問看護ステーション
・細川 千恵美	たまき青空病院
・岩本 真理	徳島赤十字病院
・切佐 古幸代	徳島県立三好病院
辻 敬子	きたじま田岡病院
・和田 光代	徳島県立海部病院
中澤 薫	独国立病院機構とくしま医療センター西病院
・藤原 都志子	公益社団法人徳島県看護協会
横関 恵美子	四国大学看護学部

・印の方はR7、R8年度任期
※印の方は前任者残任期間より

6 支部

	支 部 名	支 部 長 名	勤 務 先
支部長	徳島支部Ⅰ	・小坂肇代※	徳島県鳴門病院
	徳島支部Ⅱ	・岩本尚美	徳島県立中央病院
	徳島支部Ⅲ	・福田ひろみ※	徳島赤十字病院
	阿南・美波支部	館 美加	JA徳島厚生連阿南医療センター
	吉野川支部	・尾田由香※	JA徳島厚生連吉野川医療センター
	美馬・三好支部	岸本小百合	徳島県立三好病院

常任委員

	職能	氏名	勤務先	
社会経済福祉委員会	保	・湯浅香苗※	徳島県徳島保健所	
	保	寺前千晴	徳島県阿南保健所	
	助	・阿部明美	つるぎ町立半田病院	
	看	井内裕子	亀井病院	
	看	久米輝美	J A 徳島厚生連吉野川医療センター	
	看	・大島直実	徳島赤十字ひのみね医療療育センター	
教育委員会	保	・多田和代※	徳島県美馬保健所	
	保	・中田華奈	徳島県三好保健所	
	看	・河村広美	J A 徳島厚生連吉野川医療センター	
	助	・三木章代	四国大学看護学部	
	看	・阪口大	徳島県立中央病院	
	助	榎本幸代	徳島赤十字病院	
	看	・森島寿奈美※	独)国立病院機構とくしま医療センター東病院	
	看	・岸本涼華※	徳島県立総合看護学校	
	看	細川美香	徳島大学病院	
	看	・川原美穂	徳島市民病院	
	看	森浦弥生	川島病院	
	看	橋本浩子	徳島大学大学院医歯薬学研究部	
	看	小川恵美	J A 徳島厚生連阿南医療センター	
	看	前川涼子	徳島赤十字ひのみね医療療育センター	
	看	・志宇知里彩※	徳島県鳴門病院	
	看	尾木原靖	T A O K A こころの医療センター	
学会委員会	保	辻輝美	徳島県徳島保健所	
	助	・川下美紀	徳島大学病院	
	助	・山田健代	徳島文理大学保健福祉学部	
	看	矢野祐樹	独)国立病院機構とくしま医療センター東病院	
	看	・幸木千夏	J A 徳島厚生連阿南医療センター	
	看	・飯藤大和	徳島大学大学院医歯薬学研究部	
	看	・桑村富久枝※	徳島赤十字病院	
広報出版委員会	機関紙発刊・ホームページ	保	・山口瑞貴※	徳島県徳島保健所
	機関紙発刊・ホームページ	保	多田美由貴	徳島大学大学院医歯薬学研究部
	機関紙発刊・ホームページ	助	酒巻由里	徳島県立中央病院
	機関紙発刊・ホームページ	看	室屋昌美	徳島県立三好病院
	機関紙発刊・ホームページ	看	・高橋英子	J A 徳島厚生連阿南医療センター
	機関紙発刊・ホームページ	看	・角田匡弘	独)国立病院機構とくしま医療センター東病院
	機関紙発刊・ホームページ	看	小西輝実	徳島市民病院
	機関紙発刊・ホームページ	看	・野田直美	徳島赤十字病院
推薦委員会	保	上原洋子	徳島県企画総務部職員厚生課	
	保	・西谷範子※	徳島県徳島保健所	
	助	新井紀子	徳島県鳴門病院	
	助	・森ひとみ	徳島大学病院	
	看	・近藤和美	徳島市民病院	
	看	岡由美	つるぎ町立半田病院	
	看	・村尾和恵	徳島県立中央病院	
	看	・林洋子	J A 徳島厚生連吉野川医療センター	
	看	笠掛有里	徳島県立三好病院	
	看	庄野美香	徳島赤十字病院	

・印の方はR7、R8年度任期
 ※印の方は前任者残任期間より

特別委員

	職 能	氏 名	勤 務 先
看護制度委員会	保	榊原陽子	徳島県保健福祉部医療政策課
	看	藍原美鈴	徳島県立総合看護学校
	看	加藤綾子	ぎたじま田岡病院
	看	奥谷恵子	徳島県鳴門病院附属看護専門学校
	看	森 数江	JA徳島厚生連阿南医療センター
	看	三木真澄	徳島県厚生農業協同組合連合会
認定看護管理者教育運営委員会	看	清 朋美	藍里病院
	准	日岡真代	鴨島病院
	看	岩本尚美	徳島県立中央病院
	看	早淵由美	徳島赤十字病院
	看	池田恵美子	四国大学看護学部
	看	上田美香	徳島大学病院
	看	三木真澄	徳島県厚生農業協同組合連合会
	看	折村秀美	田岡病院
	看	小坂肇代	徳島県鳴門病院
	看	横田三樹	公益社団法人徳島県看護協会
	看	鈴木察子	公益社団法人徳島県看護協会
	看	大坂朱美	徳島大学病院
	看	橋本久美子	徳島赤十字病院
	看	中野敦子	JA徳島厚生連吉野川医療センター
	看	瀬尾佐和子	徳島市民病院
	看	播磨優子	徳島県鳴門病院
医療・看護安全対策委員会	看	水田和代	徳島県立海部病院
	看	村尾和恵	徳島県立中央病院
	保	山田 愛	徳島県保健福祉部医療政策課
	保	上白川沙織	徳島大学大学院医歯薬学研究所
	保	横山敦子	公益社団法人徳島県看護協会
	看	木島美香	徳島県立総合看護学校
	看	坂千代沙千	JA徳島厚生連吉野川医療センター
	看	河野共子	JA徳島厚生連阿南医療センター
	看	上野妃呂子	つるぎ町立半田病院
	看	川西誠子	徳島赤十字病院
	看	金丸昌史	徳島市民病院
ナースパブリック推進プロジェクト委員会	保	榊原陽子	徳島県保健福祉部医療政策課
	保	横山敦子	公益社団法人徳島県看護協会
	助	四宮洋子	徳島県立総合看護学校
	看	船田美紀	JA徳島厚生連阿南医療センター
	看	山崎佳子	むつみホスピタル
	看	藤田都慕	川島病院
	看	高岡正和	岩朝病院
	看	井上和美	JA徳島厚生連吉野川医療センター
看護の心音プロジェクト委員会	保	山田 愛	徳島県保健福祉部医療政策課
	保	横山敦子	公益社団法人徳島県看護協会
	助	大下安由美	徳島県立海部病院
	看	岸本小百合	徳島県立三好病院
	看	松浦良里子	つるぎ町立半田病院
	看	小坂肇代	徳島県鳴門病院
	看	福田ひろみ	徳島赤十字病院
	看	井上和美	JA徳島厚生連吉野川医療センター
	看	谷崎宏美	徳島市民病院
	看	館 美加	JA徳島厚生連阿南医療センター
組織強化プロジェクト委員会	看	三木真澄	徳島県厚生農業協同組合連合会
	看	岩本尚美	徳島県立中央病院
	看	福田ひろみ	徳島赤十字病院
	看	館 美加	JA徳島厚生連阿南医療センター
	看	尾田由香	JA徳島厚生連吉野川医療センター
	看	岸本小百合	徳島県立三好病院
	看	小坂肇代	徳島県鳴門病院
	保	浦西由美	徳島県美波保健所
	助	森内洋美	徳島大学大学院医歯薬学研究所
	看	谷崎宏美	徳島市民病院
	助	上田美香	徳島大学病院
	看	吉田三紀	独)国立病院機構とくしま医療センター東病院
	助	鈴記洋子	公益社団法人徳島県看護協会
	看	庄野泰乃	公益社団法人徳島県看護協会

令和8年度



日本看護協会 通常総会

令和8年 6月10日(水) 9:30~16:45

場 所 幕張メッセ(千葉県)

令和8年度

公益社団法人 日本看護協会代議員

保	浦西 由美	徳島県美波保健所
助	森内 洋美	徳島大学大学院医歯薬学研究部
看	谷崎 宏美	徳島市民病院
看	岩本 真理	徳島赤十字病院
看	藤原都志子	公益社団法人徳島県看護協会
准	富田 浩史	—

日本看護協会通常総会に参加して

日本看護協会は6月10日、令和8年度通常総会を幕張メッセ（千葉県）で開催され、全国から749名の代議員が出席し、1,300名の一般参加があり活発な討議が行われました。

秋山智弥会長の開会あいさつでは、「より質の高い看護実践のための教育制度改革の実現が必要であり、看護師基礎教育の4年制一本化を目指すこと」を重点政策に位置付けたことを説明した。

また、「自律した専門職として看護の質向上に努め、昼夜を問わず質の高い看護を提供することに見合う価値が、賃金として十分に反映されるべき」と強調し、「専門職としての役割と責任に見合う処遇の実現を国に強く求め、現場の看護職に着実に行き届くよう取り組むと述べました。

議決事項の「名誉会員の推薦（案）」「2026年度改選役員及び推薦委員の選出について」と4つの報告事項が協議・報告され、議決事項はすべて承認されました。

新たな役員として、常任理事に片岡弥恵子氏が選出されました。

令和8年度 全国職能別交流集会

令和8年 6月11日(木) 10:00~15:30

保健師職能委員会

2040年を見据えて～保健師の未来を語る～

保健師職能委員長 浦西 由美

「2040年に私たちの保健師活動はどうなっているか～保健師の未来を語る～」をメインテーマに開催。人口減少や大都市・中山間地域の格差など地域特性の多様化が進む中、これからの保健活動のあり方が多角的な視点から議論されました。

特別講演では厚生労働省保健指導室長の後藤友美様より、自治体の実情に応じた効果的・効率的な活動、組織マネジメントの中核となる統括保健師の配置と計画的な育成など、改正された保健活動指針のポイントが解説されました。

シンポジウムでは、新任期の理想と現実の葛藤や対話による関係性構築の大切さ、中堅期のICT実装に伴う業務プロセスの見直し、管理期の地域づくりと次世代へ語り継ぐ不変の「コア」、教育期の大学院化の議論など、各立場のリアルな熱い声が交わされました。生産年齢人口が減少する中で人材確保・定着は急務です。社会環境が激変しても「すべての人々とコミュニティを対象に、健康とQOLの向上を目指す」という私たちの核心は揺らぎません。複雑化する健康課題に対し、ICTを手段として活かしながら、多職種や他自治体と手を取り合い、徳島でも仲間とともに住民のWell-Beingを支える未来を創造していきましょう。

助産師職能委員会

新たな助産ケア提供体制の構築に向けて

助産師職能委員長 森内 洋美

助産師職能委員会はこれまで、分娩取扱施設において4つの機能を持つ「母子のための地域包括ケア病棟」を推進してきました。現在、分娩取扱施設の減少等に伴い、分娩を取り扱わない施設も含め、複数の施設で協働・連携するなど、地域の実情に応じて助産ケアを継続的に提供できる体制整備が必要になっています。増加する助産ケアのニーズに応えるためにも、「妊娠期からの継続ケア」や「助産師主導による継続ケア（院内助産・助産師外来等）」などの切れ目のないケアは、妊産婦のメンタルヘルスの維持向上に寄与し、円滑な育児への移行を可能にするうえで必要不可欠となっています。

国の動向の中で、出産・妊婦健診費用の自己負担の軽減に関して、改正法案（改正健康保険法）にて、正常分娩にかかる費用の全額を公的保険で賄う（いわゆる無償化）ことを2年以内に施行されると情報提供がありました。様々な出産環境の変化の時期にあることを専門職として捉えつつ、女性がより安心・安全に妊娠から出産を経て、子育て期まで過ごすことができるよう支援し、活動していきたいと思います。

看護師職能委員会

次世代の看護師育成と生涯教育

看護師職能委員長 谷崎 宏美

「看護の将来ビジョン2040」が公表され、看護は新たなビジョンが示す方向に動き始めています。それを実行する看護職は生活者たる「ひとりの人」であるため、①看護職一人ひとりのウェルビーイングの重視②自己研鑽と主体的なキャリア形成の推進③多様で柔軟な働き方への転換が、看護職が活躍する基盤となるものとして置かれました。その関連として「これからの時代で働き続けるためのキャリア論」と題した特別講演、「専門職として学び続けること」というテーマの基調講演、「次世代病院看護師のシームレスな育成を目指して」のテーマでのリレートークがありました。今後、生産年齢人口が減少していく中、看護の質を担保し、専門性をより発揮するためには、看護基礎教育に始まり生涯学習やキャリア形成と、効果的な人材育成が重要です。また、長く働く時代となるため、働く環境が変わったとしても働き続けるため学び続けることは、大切だと感じました。

2026年度看護師職能委員会Iでは、看護基礎教育から生涯学習を通じた病院看護師の養成と病院看護管理者の魅力発信をしていく予定です。本県の看護師職能委員会でも全国に沿った活動をしていきたいと思っています。

看護師職能委員会

2040年に向かう社会における地域包括ケア

看護師職能副委員長 藤原 都志子

全国看護師交流集会II（介護・福祉関係施設・在宅領域）では、まず厚生労働省老健局より「2040年に向かう社会における地域包括ケア-介護・医療の連携強化」と題した講演が行われた。続いて「訪問看護ステーションと医療機関との連携体制の深化」、「地域での生活を支え続けるための組織を超えた連携」について、介護・医療の連携、病院から訪問看護ステーションへの出向事業、組織を超えた人事交流に関する取り組みが各講師より紹介された。その中で、在宅領域では病院看護師が在宅の実地を知ることで、これまで「在宅は難しい」と判断されていた患者が自宅へ戻ることができた事例が紹介された。病院から在宅へ、在宅から病院へと双方向につながり支援が、地域包括ケアにおいて重要であることが示された。パネルディスカッションでは、「利用者を中心とした地域における連携の深化」をテーマに議論が展開された。医療・介護・福祉の各領域が組織の枠を超えて連携し、利用者の生活を継続的に支えるための仕組みづくりが求められていること、そして2040年に向けて地域包括ケアをより強固なものにするために、専門職の相互理解と人材交流の促進が重要であるとの認識が共有された。

私たち



生涯現役です



プラチナ保健師
黒坂恵子

保健師活動を地域から ご近所まで!生涯現役!

昭和43年4月に保健師として仕事を始めて、58年が過ぎました。保健所や県庁医務課などで勤務し、60歳で退職しました。退職後は、在宅生活されている障害者の方に、生活習慣病やメンタルヘルス等の保健指導の業務を約12年間行い、

現在は、産業保健分野で健康診断の事後指導などの仕事をしています。

これからは、保健指導の場が、地域から地元、近所と狭まってまいりますが、お付き合いの基本として「向こう3軒両隣」の家族の方々とは、健康について共通の話が出来、笑顔で笑いの絶えないご近所付き合いが出来ればと念じています。



プラチナ保健師
富士原晴己

目指せ100歳 細く長く社会参加

人生100年時代、生涯現役という生き方がますます現実味を帯びてきました。しかし年を重ねるということは、衰えるということでもあり、自分らしいペースで社会とつながり続ける生き方を模索しています。保健師として培った知識や経験を生かしながら、予防接種被害者相談員、子育て支援ボランティア、高齢者の生きがい対策に参加しています。地域には多彩な人材があり、そこでの出会いは人生を豊かにする宝物です。



みさ子助産院
原田美佐子

ひそかに 「院内開業」のすすめ

病院勤務時代、業務の傍ら院内開業のつもりで産前産後の健康相談に乗り、骨盤ケア教室も企画しました。ケア対象の女性にすぐ会える環境で実践力を磨いた経験と繋がりが、開業12年目の今も私を支えています。誰か

のために自分を後回しにしがちな医療スタッフにこそ、健やかな産前産後と楽しい育児を経験し元気に復帰を!その支援が私のライフワークです。皆さんも今の環境を味方に、身近な人を元気にする一歩を踏み出しませんか。



徳島県鳴門病院附属看護専門学校
今崎順子

いつか生涯現役の先輩方の ように輝ける日を夢見て

定年退職後も看護基礎教育の現場で、成長し続ける看護学生とともに歩んでいます。自分のWLBに合った職場環境を提供してもらえることで、看護職が生涯を通じて健康で安全に働き続けられると実感しています。今後、も出会う方々に感謝の気持ちを忘れず、地域社会にも貢献していきたいです。後輩の皆様、看護職は辛いこともありますが、誇り高く魅力的な職業です。夢見たとおり、一生を費やすだけの価値はあります。そして、私もまだまだ夢の途中です。



三好病院
古泉サト子

看護の実りに向けて

「入学式：昭和57年4月7日」先日、看護学校の入学のしおりを見つけました。この日から看護の道を歩んで45年。世間知らずだった私が、年齢を重ねるうちに困難なことも何とかクリアできるようになりました。患者さんとの関わり方も上手くなったように思います。今の楽しみは同僚と昔話で盛り上がることです。人生いろいろですが、置かれたところで力をつけ、活かすことが大切だと思います。看護の成熟はまだまだ先

にありそう。



吉野川医療センター
金山幸代

社会とのつながりが 原動力

定年退職後も同じ病院で外来スタッフとして働き、3年目となりました。今も元気に働けているのは、大好きな看護を続けながら、患者さんや仲間とのつながりを大切にできているからです。「ありがとう」の一言や笑顔に励まされ、私自身も毎日元気をいただいています。年齢を重ねても経験を生かして誰かの役に立てる喜びが、私を輝かせてくれる原動力です。これまで培ってきた経験を生かしながら、一日一日を感謝の気持ちで歩んでいきたいと思っています。



藍里病院
岡本仁美

人とのつながりに 感謝して

私は看護師として40年、その内26年間で精神科で勤務してきました。その経験から「人とのつながり」と「学ぶ気持ち」を大切に思い、年齢を重ねても新しいことに興味を持ち一日一日を楽しむ気持ちを忘れないように心がけています。そして、誰かの役に立てた時の「ありがとう」が何よりの励みです。現在は精神科デイ・ケアに籍を置き健康を大切にしながら、自分らしく笑顔で過ごし、これからも利用者さんの元気を見届けていきたいと思っています。



徳島市民病院
原良江

これからも、 生涯「プチ現役」宣言

私は昭和、平成、令和という三つの時代を、看護師として歩んできました。かつては55歳、あるいは60歳で定年となり現場を離れるのが一般的でしたが、現在は生涯現役の時代です。私も定年を迎えた時、自分にできる役割があれば仕事を続けたいと考えました。今、看護師としてやりがいを感じ、納得しながら仕事に向き合っていることは、日々の大きな充実感につながっています。患者さんや同僚と接する中で、自分の居場所や役割を見いだせたことは、大きな財産であり、長く働いてこられた理由でもあります。周囲への感謝を忘れず、今後も社会の中で自分のできることを続けていきたいと思っています。



阿南医療センター
堂本美恵子

生涯現役で働き続けられている 看護師としての思い

看護師として働き続けて45年、長い年月が走馬灯のように思い出されます。人生において、節目では先輩及び後輩に助けられながら様々な経験をしました。分からないことは一人で抱え込まず、先輩や仲間と相談する勇氣を持ってください。一つ一つ経験が成長につながります。医療の進歩する中、継続的な学習・自己研鑽は生涯必要です。また看護師として知識や技術だけでなく自身の心と体の健康と家族の支えは必須です。ワークライフバランスを考慮しながら自己のモチベーションにつなげてください。私は笑顔・思いやり・丁寧な対応をモットーに頑張ってきました。これからも後輩ナースに寄り添いながら、自分らしく看護を実践できれば幸いです。皆さんも仕事に誇りを持ち生涯現役を目指して頑張ってください。



徳島赤十字病院
町田美佳

患者さんの苦痛軽減の ためにつないでいく

私は、2012年にがん看護専門看護師として緩和ケアチームを担当した。当初、介入依頼があったリンパ浮腫の経験がなかったため、患者の苦痛軽減のためにと正しい知識と技術をゼロから勉強した。リンパ浮腫セラピスト取得後は、症状緩和として圧迫療法を実践している。還暦を過ぎて、緩和ケアは頼れる後輩に引き継いだ。今は、圧迫療法を学びたいと言ってくれる若手と一緒に、弾性ストッキングコンダクターを目指している。頑張る彼女たちに未来を託して。



徳島県立中央病院
県中のAWAナース達

看護の実りに向けて

長年の臨床経験と知識を活かし“相手の思いを丁寧に受け止める姿勢”を大切に日々の看護を実践しています。

退院支援では患者様やご家族の不安に寄り添い対話を重ねながら、生活課題や医療的ニーズ、社会資源を総合的に評価し、退院後の生活まで見据えた支援を行っています。

こうしたアセスメント力と調整力が患者支援センターを支えるだけでなく、現場の医療にも確かな力を発揮しています。



TAOKA訪問看護ステーション万代
長谷康子

人との出会いが 私の看護の原動力

訪問看護に携わってきた年月の中で、さまざまな患者さんやご家族の人生に触れ、共に働く看護職や医療・介護の仲間との出会いが、この仕事をますます面白くしてきました。今は統括所長として組織を支えつつ、若いスタッフと一緒に現場で悩み、学び続ける日々です。非常勤講師や子ども支援の活動にも携わり、地域の「生きる」をそっと支える存在でありたいと願っています。



徳島大学病院 看護師特定行為研修センター
中野あけみ

未来を育む喜び

役職定年、定年を経て、仕事を続けることに迷いや葛藤もありましたが、自分の経験を生かせる環境に恵まれ、多くの方に支えられながら、特定看護師の育成に携わっています。修了生がそれぞれの現場で活躍する姿が何よりの喜びです。研修センターで蒔いた種が各地で実を結び、地域医療を支える力となる未来を思い描くとワクワクします。これからも家族との時間や推し活でエネルギーを充電しながら、小さな種を蒔き続けていきたいと思っています。



写真提供 緒方静子 様

2026年12月13日(日) 9時～

《第42回 徳島県看護学会》

会場は、徳島県看護会館にて、ハイブリットで開催します。
事前参加申込は、9月下旬頃お知らせいたします。

特別講演

公益社団法人石川県看護協会 元会長 小藤 幹恵 様 に、看護のチャレンジについてご講演いただきます。

「身体抑制のない看護～身体抑制ゼロを実現するために～」

2024年度のトピックス研修では、100名を超える参加者があり大変好評でした。特別講演もご期待下さい。

「3大疾病保障制度」のご案内

日本看護協会より会員向け福利厚生サービス「3大疾病保障制度(日本生命)」について案内がありました。詳しくは、徳島県看護協会ホームページの「お知らせ一覧」をご覧ください。

看護会館使用料 改定

令和9年4月1日から、徳島県看護協会看護会館の施設使用料を25%値上げいたします。詳細についてはホームページをご確認ください。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



認定看護管理者教育課程の新制度に伴う

徳島県看護協会の現行教育課程修了のお知らせ

日本看護協会では、多様化するニーズに応え続けていくため、認定看護管理者に求められる6つの能力を獲得できるよう教育を見直し、「看護管理研修(付加研修を含む)」及び「新たな認定看護管理者教育課程」の2つに体系化しスタートします。

徳島県看護協会では、2027(令和9)年度は、ファーストレベル開講(秋頃)予定です。

現行の認定看護管理者教育課程2027(令和9)年度で終了します。

今後の新たな研修の構成・内容及び方法については、改めてお知らせします。

ご意見箱の設置について

会員・非会員を問わず看護会館にお越しいただいた方へ、ご意見、ご要望等をお伺いするため、7月1日から2階玄関ホールに意見箱を設置しました。

お寄せいただいたご意見をもとに、開かれた看護協会の運営を行っていきたいと思います。多くのご意見をお待ちしています。



ナースセンターだより

5月10日(日)に「看護の日」イベントを実施しました!

「看護職になるための説明会」と同時開催し137名の高校生が参加されました!

看護職について意外と知らないことがあって勉強になりました!



かんこちゃんと記念撮影

先輩方を見てこんな人になりたいと思いました!

注射器の固定が難しい!



モデルを使って採血に挑戦!

なかなか体験できないことが出来てよかった!

～看護職への進路説明～

♡「魅力ある看護の道へ」

♡「現役看護職からのメッセージ」

徳島県鳴門病院 大黒 怜奈 様
徳島赤十字病院 三木 真乃子 様
徳島県健康寿命推進課 花畑 日菜 様

卒後5年目までの現役看護職の方から看護職を目指したきっかけや仕事内容、やりがいなどについてお話をいただきました。

♡看護技術体験

①採血 ②筋肉注射 ③正しい手洗い ④AED(心肺蘇生) ⑤血圧測定・経皮的酸素飽和度測定 を実施



現役看護職のリアルなお話を聞く

多くのご協力をいただきました。ありがとうございました!



医療安全対策

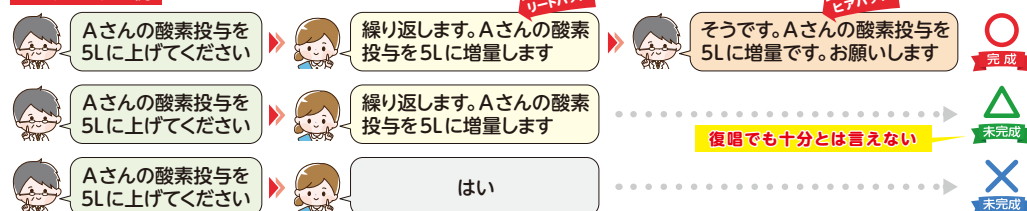
ワンポイントアドバイス

No.57

チェックバック(再確認)

情報を伝える際には、
1. (伝え手が) メッセージを伝えます
2. (受け手が) 伝わった内容を復唱します
3. (伝え手が) 受け手に伝わった内容が、正しいことを確認します

チェックバック 例



繰り返さなかったら「チェックバックしてください」と依頼

編集後記

協会ニュース「和」の発行にあたりご協力いただいた皆様ありがとうございました。今後も皆様が身近に感じる話題を提供してまいりますのでよろしくお願いいたします。

(広報出版委員一同)

